

賞 長 町 野 高



税金をおさめ、日本に貢献しよう

高野町立高野山中学校 三年 富田 愛子

私はずっと税金は必要ないものだと思っていました。それも消費税が八%から十%になりましたというニュースを聞いたときは、なぜ税金は高くしないといけないのか、むしろ払わないといけないのかずっと疑問でした。しかし、私は今回税金に関する作文を作成する機会を通じて、税金について少しですが勉強していろいろなことが分かってきました。

まず、私たちは毎日当たり前のように学校に登校しています。しかし、学校に登校できるのも税金のおかげです。教科書には税金で無償で支給されていることが書かれています。このように、自分たちがいろいろな形で払っている税がこういったことに使われていると考えると納得がいきます。また、高野町では現在小中一貫の校舎が建設途中です。このような学びの場所にも税金は利用されています。教育を受けなければならぬ私たちが、お金の負担なく、学ぶことができる環境を整備されることはいいことだと思います。

和歌山県はとても森林の割合が多く、県土の約七十七%をしめているそうです。その特徴を生かして作った税が紀の国森づくり税です。森林を県民の財産として守り育て、次の世代に引き継いでもらうため、和歌山県ではこの税を導入し、小中学生に森林を育てる意識を育んでもらうために、色々な取り組みを行っているものです。このような和歌山県の特徴を生かして税金を集めるのは良いことですし、森を守るために、税金が使われるのはいいことだと思いました。さらに、和歌山県内で新宮警察署の建物や、京奈和自動車道紀北西道など、作られることで自分の命の安全が守られたり、移動するときに、少しでも効率がよくなるならば、税金はとても必要なものなんだなと気付かせられました。

このように、私たちは物を買うたびに消費税などの税金を払っていますが、決して余分に取られているのではないと、今回調べる事で思うようになりました。しかし、教育などに税金を使うことは賛成ですが、税金を無駄にお金をかけていることもあります。税金を払う以上は、きちんとお金が正しく使われているか、知る事も大切です。国民がもっと税の重要性について理解し、その使い方に無駄遣いがないようにチェックをするようになれば、税金についてみんなが必要性を感じ、税金を払うことを受け入れてくれると思います。私は嫌々税金を納めるのではなく自分から、税金を納め、そして、それが有効に使われているか、しっかりチェックしたいなと思います。